



【医療】 導入事例

いわき市医療センター 外科

8時間超の開腹、短時間のラパロ等、様々なオペで使っています。
意外と自然に立ったり座ったりしています。

いわき市医療センター 外科
科長 藤川 奈々子 先生

職員数：全体1293名、看護師736名
病床数：700床



使用状況を教えてください

1日3件連続でアルケリスを着けてオペに臨んだ事もありますし平均して週に5、6件程度装着しています。

【開腹】

- ・胃切除、大腸切除、脾頭十二指腸切除

【腹腔鏡下】

・胆嚢摘出、結腸切除、ヘルニア手術
等にて短時間での使用または開腹では8時間超もありました。



使用した感想は如何ですか

1ヶ月経ち、装着や使用に慣れました。
装着している際は、意外と自然に座っており、あまり意識せずに立ったり座ったり出来ます。不安定感はありません、手術台があると更に安定感が増します。
オペでは腰と肩、そして首に疲れを感じますが今、腰は調子が良いのでアルケリスは腰に良いのかもしれません。

どんな手術におススメですか

あまり動かない、そして手術台にまっすぐ向いて行う手術が合うと思います。
ラパロは比較的動きが少ないという点で、向いていると思いますが特に助手の場合、手術台に対し斜めを向いているので、寄りかかり方など工夫する事で安定感を改善出来ます。
手術ではありませんが腰痛持ちの方々、若手医師の予防の観点でも良いと思います。

